令和8年度地区懇談会　議事録（令和8年10月4日_東公民館 ）

	質問 ・ 意見	回答者	回答
1	荒廃農地の管理について、今後、農業はしないが道作りの時に他人の草刈りをしなければならない人が増えてくる。そこで、農地を持っていない個人が購入する草刈機の補助金を出すことはできないか。	町長	荒廃農地対策として、自走式の草刈機をリースにより借り上げた場合の費用を補助している。 個人で購入する補助金は難しいと考えるが、地域へのリースによる貸し出しなど、令和9年度以降で一歩進んだ荒廃農地対策を考えている。
2	浜中バイパスが整備され、通行の便が良くなった。しかし、交通量が増えるという問題も出ている。時間帯によっては渋滞するため、時差式信号を取り入れては。 また、10月から生活道路の制限速度が30キロとなったことに伴い、大きな道路が渋滞すると生活道路に車が流れてくるので、生活道路の安全も確保が必要では。	農林建設課長	浜中バイパスについて、実際に新しい店舗ができたことにより、朝夕の混雑状況は把握をしている。国、県とも情報を共有しながら、渋滞緩和を進めている。 また、時差式や矢印付きの信号機については、交差点協議等では検討したが、警察が設置は難しいということもあり、今の信号機のままとなっている。生活道路につきましても、しっかりと安全対策をしていきたい。
3	役場周辺の使用していない町の駐車場について、売り払いや賃貸をして、役場周辺に駐車場を集約してはどうか。	総務課長	老人福祉センターと福祉会館を統廃合し、現在の福祉会館あたりに新しい施設を建築し、その後、老人センターを解体する予定にしている。そのため、老人センターのある辺りに駐車場が増える予定である。また、役場南に110台ぐらいの駐車場を整備しており、今後も集約化を図ってきたいと考えている。 駐車場整備が進んだことにより、土地の有効活用として一部の駐車場を民間事業者へ貸し出しており、歳入確保に努めている。
4	公共下水道事業について、古井地区はいつ頃になるのか。	上下水道課長	現在、釣具屋まで下水道工事をしており、里見川荘や保育園までは令和10年までの整備区域となっている。 今年度に事業認可の変更を行う予定であり、今現在工事ができていない状況であり、5年から7年延びるような状況。古井地区に入るのはその先となる。
5	古井地区の空き家について、草や木が生えて困っている。	副町長	草や木の問題については、空き家の所有者に対し、通知をして対応を依頼する流れとなっている。案件があれば、まち整備課まで相談をしてほしい。
6	かすみ保育園の駐車場が狭いと思うが整備することはないのか。	健康福祉課参事	現時点で保育園や保護者等から駐車場が狭いといった声は聞いていない。また、里見保育園の駐車場は、保育園が土地を準備し整備している。町としては情報収集を行い、できることは協力していきたい。
7	東小学校東側に新しく駐車場ができたが、雨が大降りになったときは、駐車場周辺（県道側の階段下部分の辺り）が浸かってしまい、県道を渡るときにずぶ濡れになってしまう。これは解消されないのか。	教育委員会事務局長	以前も現場を確認して、雨が降ったときには、排水能力が追いついていない状況を確認している。 その時に対策をしたが、県道や民地との兼ね合いもあり、全部を解消することは難しかった。再度現場を確認して、どのような方法がとれるか検討する。
8	東小学校校舎東側の屋根の平板が剥がれ落ちそうだったが安全対策がなされていなかった。また、給食棟の2階部分のベランダの排水が何年も前から壁をつたって落ちている。対策はとらないのか。	教育委員会事務局長	東小学校に限らず他の施設についても、経年劣化により、設備の故障や傷みがでている。また、設備の破損による危険性について、子どもたちの安全面を第一に考え優先的に対応している。排水の漏れについても、現場の確認や業者とも話しをしながら対応していきたい。

9	東小学校の正門を入ってすぐのところのレンガ敷付近の排水について	教育委員会事務局長	降雨時には、排水ができていない状況は確認をしている。レンガの下に木の根が張っていることもあり、全部を綺麗にしようとすると相当な時間と費用がかかるため、難しいと考える。
10	里見川広場から東小学校へ向けて細くなる通学路のコンクリートに段差ができていて、子どもたちがつまづいて危ない。対策をとっていただきたい。	農林建設課長	まずは現状を確認させていただく。子どもたちには怪我のないよう通学できるよう改善していく。
11	里見川の堰について、一定の水量になったら自動で動くと聞いていたが、今年も2回くらい自動で動かなかった。確認をいただきたい。	農林建設課長	現状を確認させていただく。
12	里見川の護岸（東小学校の駐車場北側あたり）が陥没している箇所があるが、改修を県に依頼してほしい。	農林建設課長	県の管轄の場所については、全体を確認しており、全部ではないが少しでも部分的に修繕を行うということを聞いている。実際に決まれば報告させていただく。
13	釣具屋前の里見川と県道が交差するところにあるゴミステーションがあり、里見川方面から県道に出る時に県道の状況が分かりにくい。これまでに2件の事故があった。ゴミステーションの移設はできないのか。	農林建設課長	県管理河川であるため、県と協議をしている。今後、どのような形になるかは別として改めて回答させていただく。
14	千葉県では線状降水帯が発生し川が溢れるようなことがあった。里見川は岡山県の管轄ではあるが、里見川の泥の浚渫を岡山県に要望してもらえないか。	農林建設課長	河川の浚渫については、現在の状況と上流、下流の状況も含めて写真を撮影し、岡山県へ要望をしている。また、松尾地区にもかかってくるため、場所を教えていただきたい。
15	里見川広場から東小学校へ向けて細くなる通学路がある。通学路の安全確保について、必要があれば私が所有する土地を無償で提供してもいい。	町長	最終的な形や状況を検討しながら研究していきたい。
16	町の財政状況について、現状は健全な財政運営ができていると説明があったが、健全でなくなるという判断はどういう時か。	総務課長	借金が増えるが貯金が増えないといった場合には、当然健全ではない状況だと考えられる。こういった状況にならないために、議会にも財政の健全化判断比率や毎年の決算状況などについても審議いただいている。町は中長期的な計画に基づき事業を進めていき、単年度では歳入の確保と歳出の抑制に努め、今後も気を引き締めて健全な財政運営に取り組んでまいりたい。
17	ストックヤードの集約化について、集約化されることに伴い、東公民館のストックヤードがなくなった場合、高齢者が遠い場所に持って行くことは難しいのでは。 今後、運用しながら何か問題があったら考えていただきたい。	町民課長	具体的にどういう形で新しいストックヤードの運営をしていくのか、東西2箇所の廃止時期等についてはまだ決まっていない。皆様の御意見を聞きながら、いい形で利用ができるよう考えていく。

18	ふるさと納税の財政への貢献度は。	企画商工課長	令和７年度の決算状況では、個人版と企業版の合算で5億8800万円程度。これの約2分の1が町の財源として使える金額となっている。
19	新しい公共施設には来庁者がリラックスできる飲食コーナーなどのスペースを作ってはどうか。	町長	現在、進めている新しい公共施設については、皆様に自由にくつろいでいただけるスペースの設置についても研究、検討をしている。
20	赤木町長が就任されて8か月が経った。来年度予算で赤木町長がどうしてもやりたいことは何か。	町長	町政全体については、振興計画に基づき進めていくため、前加藤町長と大きく変わることない。ただ、やり方、手法については、時代に即した形でやっていきたい。その一つがインスタグラムを活用して町のホットな情報を具体的に発信をしていく。また、地域に出向いて町民の皆様の生の声を聞くこと、現場を見るといったことを心がけたい。
21	現在、里庄町でドッグランを整備する計画はあるか。	町長	現在、計画はないが、このような意見は何回かあった。場所やどのくらい費用がかかるか研究していきたい。
22	役場のストックヤードの備品などを自転車置場に置いていることでが手狭になっている。自転車が置けない状態になっているため、駐輪場の場所を分かるようにしてほしい。	総務課長	自転車置き場については、置ける台数が少ないなどの課題もあるため、新しい公共施設の建替えに合わせて計画もしている。 自転車置き場の表示等について、検討してまいりたい。
23	仁科生家のふるさと納税を活用したクラウドファンディングについて、現状といつまでにどれくらいを目標にしているのか。	企画商工課長	昨年度から今年度末を実施期間としている。この期間において5億円を目標にしており、現状約1億5千万円程度となっている。今後、多くの方にご寄附をいただけるように、町全体でPRを行う。
24	矢掛町や他のまちに比べ、山陽新聞やNHK等への記事が少ないと思うが、どう考えているか。	町長	プレスへの情報提供はしているが、全部を取り上げてくれることはない。そうしたこともあり、私が始めたインスタグラムで発信する情報をご覧いただきたい。
25	里庄町には消防署の出張所がないため、救急車の到着に時間を要することもあるのではないかと懸念する。そのため、役場周辺に救急車を配備できないのか。 また、救急車が入れない道は今後どうするのか。	副町長 農林建設課長	笠岡地区消防組合は2市1町の負担金により運営をしているため、里庄町のために配備となると当町の負担金が高くなり、財政面で厳しい。また、笠岡地区消防組合内で救急隊が不足していることから定員を増やして順次採用を増やすことで対応している。 救急車などの緊急車両が通行できない道路の拡幅については、予算等を勘案しながら進めていきたいと考えている。
26	小さな分館の活性化について	町長	定年が伸び、分館長も定期的に交代しなければならない。また、地域で集まる機会が少ない。こういった中で、地域で集まって何かしようというきっかけ作りをしなければ、地域の元気がなくなってしまうという強い思いから、補助金の制度設計を行い、「里庄町未来へつなぐ地域活性化補助金」を創設した。この補助金の活用を機に地域が集まるきっかけにしてほしい。

27	通学路の横断歩道の白線が薄くなっているところがある。町外では横断歩道の両側にグリーンのラインを引いているところもある。子どもの安全をどう確保していく方針かお尋ねする。	町長	白線については、消えているところ、薄くなっているところがある。県道については県へ要望し、町道につきましては巡視しながらできるだけ早く補修できるようにしたい。
28	里庄中学校吹奏楽部の演奏を聞いて素晴らしいと思った。	町長 教育長	私も演奏を聞いて感動した。 楽器はすべて中学校で管理をしている。新しいものにすべて買い換えることはできないが、音の調整などには、町として支援していきたいと考えている。 楽器は非常に高価なもので、修理をするにしても費用がかかる。予算面もあるが、できるだけ中学校が困らないように協力していきたい。
29	中学校の体育館は避難所に指定されているが、空調機器を設置しているのか。設置されている場合、それらは冷暖房に対応したものなのか。	教育委員会事務局長	小中学校の体育館には既に床置き型といった壁に付けておくタイプの空調機器を設置している。 中学校の体育館について、改修後には2階部分の卓球部が活動しているスペースにも2台増設する。なお、空調機器はいずれも冷暖房に対応している。
30	熱利用施設の命名権について、何年契約で年間いくらの契約となっているか。	町民課長	5年契約で年間20万円と聞いている。 なお、熱利用施設は3市2町で構成する一部事務組合で運営しており、命名権についても組合で公募、決定を行っている。
31	企業誘致について（ローム所有の土地）	町長	浜中バイパスが整備され、新しい商業施設もできている。また、スーパーやドラッグストアも増えている。 企業所有の土地についても、今までは受け身でいたが、何とかいい企業が来るように手掛けていきたい。実現ができるかは別にして私もプッシュしていきたい。